

やまなし 県議会だより



令和8年1月6日 県議会議事堂前

県議会は、令和七年十二月定例会を十二月四日から十九日までの十六日間の日程で開催しました。開会日には、長崎幸太郎知事が総額三十七億二千三百二十八万七千円の令和七年度一般会計補正予算案などを提出しました。提案理由説明において知事は、県政の最重要課題である県民所得の向上について「県民の家計に最も直接的に響くのが賃金水準の引上げである」と強調し、具体的には非正規雇用労働者等のキャリアアップと就労のための一貫した支援などを行っていく考え方を示しました。その上で「物価高騰により実質賃金が低下する中、非正規雇用労働者などの方々が安定した生活基盤を築くためには、社会人としての基礎力を養い、正規雇用や高収入の就労につなげることが不可欠」と指摘し、オンライン講座や企業とのマッチング、キャリア相談など就労までの一貫支援を行うモデル事業を実施する方針を示しました。これにより「働き手の所得向上と企業の人材確保を同時に実現し、県内経済の持続的な成長に寄与していく」と述べました。

開会日の本会議ではさらに、九月定例会で設置した決算特別委員会の審査結果の報告を受けたのち、令和六年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに公営企業会計決算について賛成多数で認定しました。

十二月九日から十二日までの四日間は、開会日に行われた知事の提案理由説明を踏まえ、代表・一般質問を行いました（詳細は二面）。また十二日、指定管理施設の管理の業務または経理の状況及び県が出資している法人の経営状況を調査するため、指定管理施設・出資法人調査特別委員会を設置しました（詳細は四面）。

十二月十五日には教育厚生及び土木森林環境の各常任委員会を、十六日には総務及び農政産業観光の各常任委員会を開催し、付託案件及び所管事項の審査を行いました（詳細は三面）。

最終日の本会議では、国の経済対策と連動した物価高騰対策として、九十一億九千五百四十一万二千円の追加補正予算案が提出され、直ちに本会議において質疑を行ったのち、総務及び教育厚生の各常任委員会で審査を行いました。その後、開会日に提出された補正予算と合わせ、総額百二十九億一千八百六十九万九千円となる令和七年度一般会計補正予算をはじめ、中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例の制定など、二十二案件を可決・同意し閉会しました。

渡辺淳也議長は、閉会のあいさつの中で「本年は、記録的猛暑や市街地への熊出没の急増など自然の脅威を感じさせる一方、万博開催や生成AIの進化など未来に希望を抱かせる動きも数多くあった。また、本県では北杜市で国内最大規模のグリーン水素製造設備が稼働を開始し、水素社会の実現に向けた先進的施策が進んだ。こうした変化に対応し、地域社会の安全・安心と持続可能な発展を両立させることが私たちの責務である」と述べました。

十一月定例会の概要

県議会は、令和七年十二月定例会を十二月四日から十九日までの十六日間の日程で開催しました。

開会日には、長崎幸太郎知事が総額三十七億二千三百二十八万七千円の令和七年度一般会計補正予算案などを提出しました。

提案理由説明において知事は、県政の最重要課題である県民所得の向上について「県民の家計に最も直接的に響くのが賃金水準の引上げである」と強調し、具体的には非正規雇用労働者等のキャリアアップと就労のための一貫した支援などを行っていく考え方を示しました。その上で「物価高騰により実質賃金が低下する中、非正規雇用労働者などの方々が安定した生活基盤を築くためには、社会人としての基礎力を養い、正規雇用や高収入の就労につなげることが不可欠」と指摘し、オンライン講座や企業とのマッチング、キャリア相談など就労までの一貫支援を行うモデル事業を実施する方針を示しました。これにより「働き手の所得向上と企業の人材確保を同時に実現し、県内経済の持続的な成長に寄与していく」と述べました。

開会日の本会議ではさらに、九月定例会で設置した決算特別委員会の審査結果の報告を受けたのち、令和六年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに公営企業会計決算について賛成多数で認定しました。

十二月九日から十二日までの四日間は、開会日に行われた知事の提案理由説明を踏まえ、代表・一般質問を行いました（詳細は二面）。また十二日、指定管理施設の管理の業務または経理の状況及び県が出資している法人の経営状況を調査するため、指定管理施設・出資法人調査特別委員会を設置しました（詳細は四面）。

十二月十五日には教育厚生及び土木森林環境の各常任委員会を、十六日には総務及び農政産業観光の各常任委員会を開催し、付託案件及び所管事項の審査を行いました（詳細は三面）。

最終日の本会議では、国の経済対策と連動した物価高騰対策として、九十一億九千五百四十一万二千円の追加補正予算案が提出され、直ちに本会議において質疑を行ったのち、総務及び教育厚生の各常任委員会で審査を行いました。その後、開会日に提出された補正予算と合わせ、総額百二十九億一千八百六十九万九千円となる令和七年度一般会計補正予算をはじめ、中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例の制定など、二十二案件を可決・同意し閉会しました。

渡辺淳也議長は、閉会のあいさつの中で「本年は、記録的猛暑や市街地への熊出没の急増など自然の脅威を感じさせる一方、万博開催や生成AIの進化など未来に希望を抱かせる動きも数多くあった。また、本県では北杜市で国内最大規模のグリーン水素製造設備が稼働を開始し、水素社会の実現に向けた先進的施策が進んだ。こうした変化に対応し、地域社会の安全・安心と持続可能な発展を両立させることが私たちの責務である」と述べました。

県議会 トピックス

社会資本整備推進 山梨県議会議員連盟

社会資本整備推進山梨県議会議員連盟（会長：渡辺淳也議長）は、10月10日に臨時総会を開催し、国に対し道路などインフラ整備のため十分な予算確保を求める決議を採択しました。総会には長崎知事、県関係国会議員、国土交通省・農林水産省幹部、市町村議会議員も出席しました。今後も、オールやまなしで国への要望活動を積極的に展開していきます。



中国四川省友好訪問

渡辺淳也議長を団長とする山梨県議会議員訪問団は、10月28日に開催された「山梨県・四川省友好県省締結40周年記念式典」に出席しました。式典では文化、経済など幅広い分野での人の交流の推進を柱とした両県省による覚書が締結されました。また、同時に開催された食や文化の交流イベント等に参加し、友好関係の深化等に努めました。



永年勤続議員を表彰 地方自治の発展に貢献



全国都道府県議会議長会から、県議会議員として10年以上在職し、地方自治の発展に貢献して、渡辺淳也議長（自由民主党 政風やまなし、富士吉田市）、清水喜美男議員（未来やまなし、甲斐市）、卯月政人議員（自由民主党 政風やまなし、大月市）、宮本秀憲議員（自由民主党 政風やまなし、甲府市）が永年勤続表彰されました。



教育厚生委員会

委員長 小沢 栄一



公共交通網再編に向けた
基本方針策定支援事業費

公共交通網の再編に向け
て、来年の秋頃を目途に基本
方針を策定することだが、
本事業の目的は何か。また、
具体的な事業の内容は。

県内では、人口減少や運転手
不足の深刻化などで交通空白が
広がっており、観光客や住民生
活に大きな影響が生じている。

こうした課題の解決のため、
県では富士トラムなど次世代モビ
リティを活用した新たな交通網再
編の指針となる基本方針を策定
する必要があり、その策定に必
要となる調査検討を行う。

アドバンスト・エッセンシャルワーカー育成検討事業費

事業化に至った背景と期待
される効果は。

医療・介護分野の人材不足
の要因は、看護・介護職が身体
的・精神的負担が大きいことに
加え、社会に不可欠であるにも
かかわらず、社会的評価や報
酬が十分でないことがある。医
療機関や介護施設では、業務
効率化等のため、AIやデジタル
技術の活用が進んでいるが、
それらを使いこなせる人材は不
足している。このため、デジタル
技術を駆使し業務改善を主導
できる専門人材として、高い社
会的評価と報酬を得られるアド
バンスト・エッセンシャルワーカー

の育成を進める。

本事業では、看護・介護の関
係者やICTの専門家で構成す
る検討会において人材育成の手
法等を検討するとともに、医療
介護現場へのアドバイザー派遣
を行い、実効性の高い育成モデ
ルを構築する。

アドバンスト・エッセンシャルワ
ーカーが業務改善を主導すること
で、医療施設等の生産性向上
と報酬を高め、魅力ある職業
として確立し、人材の確保・定
着につなげる。

【その他の主な質問事項】

- ・新たな地域医療構想策定事業費

土木森林環境委員会

委員長 大久保 俊雄



桃ソムリエ認定・活用
推進事業費

この制度の具体的な目的や
背景は。また、本制度の将来
的な展開と効果は。

本県は、桃の生産量日本一
を維持しており、時期ごとに
個性豊かで異なる品種が生産
出荷されているが、消費者に
品種ごとの違いや特徴が十分
知られていない。そこで、桃
の専門的な知識を有する方を
桃ソムリエとして認定し、品
種ごとの特徴や魅力を消費者
等に伝えることで、桃の附加
価値を高め、販路拡大につな
げていきたいと考えている。

将来的には、JAグループ
などと連携し、桃ソムリエの
【その他の主な質問事項】

- ・ドローンを活用した災害物
資輸送調査費補助金

【その他の主な質問事項】

- ・新たな地域医療構想策定事業費

委員会リポート

教育厚生及び土木森林環境の各常任委員会は十二月十五日に、総務及び農政産業観光の審査を行いました。また、総務及び教育厚生の各常任委員会は、最終日に追加提案された議案の審査を行いました。審査結果は、同日の本会議で各常任委員長から報告されました。

総務委員会

委員長 向山 憲稔



公共交通網再編に向けた
基本方針策定支援事業費

公共交通網の再編に向け
て、来年の秋頃を目途に基本
方針を策定するとのことだが、
本事業の目的は何か。また、
具体的な事業の内容は。

県内では、人口減少や運転手
不足の深刻化などで交通空白が
広がっており、観光客や住民生
活に大きな影響が生じている。

こうした課題の解決のため、
県では富士トラムなど次世代モビ
リティを活用した新たな交通網再
編の指針となる基本方針を策定
する必要があり、その策定に必
要となる調査検討を行う。

アドバンスト・エッセンシャルワ
ーカー育成検討事業費

事業化に至った背景と期待
される効果は。

医療・介護分野の人材不足
の要因は、看護・介護職が身体
的・精神的負担が大きいことに
加え、社会に不可欠であるにも
かかわらず、社会的評価や報
酬が十分でないことがある。医
療機関や介護施設では、業務
効率化等のため、AIやデジタル
技術の活用が進んでいるが、
それらを使いこなせる人材は不
足している。このため、デジタル
技術を駆使し業務改善を主導
できる専門人材として、高い社
会的評価と報酬を得られるアド
バンスト・エッセンシャルワーカー

の育成を進める。

本事業では、看護・介護の関
係者やICTの専門家で構成す
る検討会において人材育成の手
法等を検討するとともに、医療
介護現場へのアドバイザー派遣
を行い、実効性の高い育成モデ
ルを構築する。

アドバンスト・エッセンシャルワ
ーカーが業務改善を主導すること
で、医療施設等の生産性向上
と報酬を高め、魅力ある職業
として確立し、人材の確保・定
着につなげる。

【その他の主な質問事項】

- ・ドローンを活用した災害物
資輸送調査費補助金

【その他の主な質問事項】

- ・新たな地域医療構想策定事業費

農政産業観光委員会

委員長 流石 恭史



桃ソムリエ認定・活用
推進事業費

この制度の具体的な目的や
背景は。また、本制度の将来
的な展開と効果は。

本県は、桃の生産量日本一
を維持しており、時期ごとに
個性豊かで異なる品種が生産
出荷されているが、消費者に
品種ごとの違いや特徴が十分
知られていない。そこで、桃
の専門的な知識を有する方を
桃ソムリエとして認定し、品
種ごとの特徴や魅力を消費者
等に伝えることで、桃の附加
価値を高め、販路拡大につな
げていきたいと考えている。

将来的には、JAグループ
などと連携し、桃ソムリエの
【その他の主な質問事項】

- ・ドローンを活用した災害物
資輸送調査費補助金

【その他の主な質問事項】

- ・新たな地域医療構想策定事業費

常任委員会 県内調査

各常任委員会では、議会閉会中に、それぞれ所管する事項の審議の参考とするため、県内外での調査活動を行っています。今回は、令和七年十一月に実施した県内調査の主な状況について紹介します。



総務委員会



農政産業観光委員会



教育厚生委員会



あおぞら共和国(写真:北杜市)の現地調査では、県と認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークとの連携による難病の子どもとその家族の療養環境向上に向けた取組状況を確認しました。また、県立八ヶ岳少年自然の家(北杜市)の現地調査では、自然体験活動を通じた青少年の健全育成、閑散期の利用促進や利用者拡大に向けた取組状況を確認しました。



土木森林環境委員会



山梨県建設業協会「けんせつ小町甲斐」の会員の皆様との意見交換(写真)では、「建設業界の人材不足解消と女性活躍推進のため、現場とオフィスをつなぐ建設ディレクターという新しい職域の活用による業務効率化、環境整備が必要だ」などの意見がありました。また、水源地域緊急整備事業重川左岸治山工事の現地調査では、斜面安定化による山地災害の防止や森林の水源涵養機能向上に向けた取組状況を確認しました。

大学生との意見交換会

若者が政治に関心を持ち、主体的に参加する契機とすることを目的に、十月二十四日、山梨県立大学飯田キャンパスで大学生との意見交換会を実施しました。当日は、県議会議員十二名と大学生二十二名が参加しました。意見交換会では、まず「若い世代の政治参加を促進するには」をテーマに全体討議が行われ、続いて「より良い郷土づくりに向けて」をテーマにグループ討議が行われました。最後に、佐野弘仁副議長が「率直で前向きなご意見を伺つた。今後の議会活動に活かしていく。今後も若い世代の皆さんと交流を重ね、議論をしていく」と述べました。

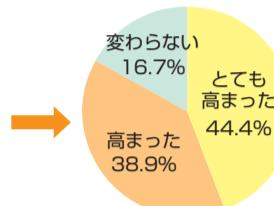


アンケート調査結果

- Q 山梨県の発展のために県議会にどのようなことをしてほしいですか? (自由記述)
- 若者との接点について
 - 若者の声を聞く機会、若者に声を届ける機会をもっとつくってほしい。
 - もっと学生と交流する機会を設けてほしい。
 - 今回のような大学生との意見交換会を継続してほしい。
 - 若者と話す機会を増やし、今までになかった意見を取り入れてほしい。
 - 議会と学生が議論する機会があると、若者の意見を届けられ、関心も高まるので継続してほしい。
 - 情報発信について
 - 今やっている施策を分かりやすく伝えてほしい。
 - 発信の工夫 (SNSや分かりやすい媒体の活用など) をしてほしい。
 - 市民の意見を聞き取り、フィードバックがなされる透明性の高い議会であつてほしい。
 - 必要な情報が行き届くよう、効果的な情報提供の場所や方法を検討してほしい。
 - 主権者教育について
 - 政治に関する教育を積極的に取り入れてほしい。
 - 義務教育段階から政治の重要性を教えるカリキュラムをつくるべき。
 - 主権者としての意識を高める努力が必要

Q 今回の意見交換会を通じて、政治や地域社会への関心が高まりましたか?

	回答数
とても高まった	8
高まった	7
変わらない	3
あまり高まらなかった	0
全く高まらなかった	0
計	18



あわせて長崎市の長崎原爆資料館 (写真) と熊本市の熊本大学の視察を行いました。資料館では戦後八十年を踏んだ平和の記憶を伝える取組について、熊本大学では急成長する半導体分野での産学官連携による人材育成について、説明を受けました。



決算特別委員会

九月定例会で設置された決算特別委員会 (山田一功委員長) は、令和六年度の山梨県一般会計と各特別会計の歳入歳出の決算内容及び公営企業会計 (電気事業、温泉事業、地域振興事業、流域下水道事業) の決算内容について、議会閉会後も継続して合計五日間、審査を行いました。審査では、収支の状況や予算執行上の適否等について活発な質疑が行われました。審査の結果を十二月定例会開会日の本会議で山田委員長が報告し、賛成多数で認定されました。



議会運営委員会

指定管理施設・出資法人調査特別委員会を設置

議会運営委員会 (山田一功委員長) は、十月二十七日から二十九日にかけ、今後の議会運営の参考とするため、大分県議会と熊本県議会を訪問しました。それぞれの県議会では、両県議会が進めている独自の取組や工夫について説明を受けました。

あわせて長崎市の長崎原爆資料館 (写真) と熊本市の熊本大学の視察を行いました。資料館では戦後八十年を踏んだ平和の記憶を伝える取組について、熊本大学では急成長する半導体分野での産学官連携による人材育成について、説明を受けました。



議員研修会を実施

議会運営委員会 (山田一功委員長) は、十月二十七日から二十九日にかけ、今後の議会運営の参考とするため、大分県議会と熊本県議会を訪問しました。それぞれの県議会では、両県議会が進めている独自の取組や工夫について説明を受けました。

あわせて長崎市の長崎原爆資料館 (写真) と熊本市の熊本大学の視察を行いました。資料館では戦後八十年を踏んだ平和の記憶を伝える取組について、熊本大学では急成長する半導体分野での産学官連携による人材育成について、説明を受けました。



委員長	水岸 富美男
副委員長	臼井 友基
委 員 (8名)	向山 嶋 飯 久 望 土 橋 浅 川 菅 飯 島 稔 力 成 大 輔 亨 三 子 修



2月定例会の予定

2月定例会は次のとおり開催する予定です。常任委員会については分散開催 (4つの常任委員会を2グループに分け、それぞれ別の日に開催) を実施する予定です。

- 2月 17日(火) 本会議(開会)
24日(火) 本会議(質疑・質問)
25日(水) 本会議(質疑・質問)
26日(木) 本会議(質疑・質問)
27日(金) 本会議(質疑・質問)
3月 2日(月) 常任委員会(令和7年度関係)
3日(火) 常任委員会(令和7年度関係)
4日(水) 本会議(令和7年度関係)
5日(木) 常任委員会(令和8年度関係)
6日(金) 常任委員会(令和8年度関係)
9日(月) 常任委員会(令和8年度関係)
10日(火) 常任委員会(令和8年度関係)
23日(月) 本会議(閉会)

※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

また、県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員会 (長澤健委員長) は、経済団体への聴き取りや現地視察、有識者との意見交換会などこれまでの調査・検討の状況を踏まえて素案を作成し、十二月十九日に政策立案調整会議に報告しました。



やまなし子ども・子育て支援条例検証委員会 県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員会

十一月二十一日、「災害時ににおける県と市町村の役割」をテーマに、今年度の議員研修会を開催しました。講師の県防災局西山隆防災対策専門監 (自衛隊OB) から、能登半島地震での事例を交えた説明を受け、質疑応答が活発に行われました。

